

MA-WPR1

MA-WPR1

204 WW 20801801



最初に
ご確認ください

- ワイヤレスプレゼンター本体 …… 1台
●直付けレシーバー …… 1台
●単四乾電池(テスト用) …… 2本
●取扱説明書 …… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1. ワイヤレスプレゼンターの接続手順
2. 特長
3. 警告
4. 注意
5. 健康に関する注意
6. 対応機種・対応OS
7. 対応アプリケーション
8. 接続する前に必ずお読みください。
9. ワイヤレスプレゼンターの準備(電池の入れ方、電源のOn-Off)
10. ワイヤレスプレゼンター(レシーバー)をパソコンに接続(Windows用)
11. ID Link接続方法
12. 干渉時の回避方法
13. 各部の名称と使い方
14. 「故障かな…と思ったら」

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

▼ サポート情報

- ▼ ドライバのダウンロード
- ▼ よくある質問(Q&A)
- ▼ 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼ トップページから

▼ サポート&ダウンロードコーナーへ

ご購入、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がございました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理となります。
(1) 保証書をご提示いただけない場合。
(2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(3) 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
(4) 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
(5) 天災地災、ならびに火災や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3. お客様で自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5. 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損については保証はいたしかねます。
6. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用されたら、人身事故、社会的障害などが生じたとき弊社はいかなる責任も負いかねます。
7. 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様の負担となります。
8. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

サンワサプライ株式会社

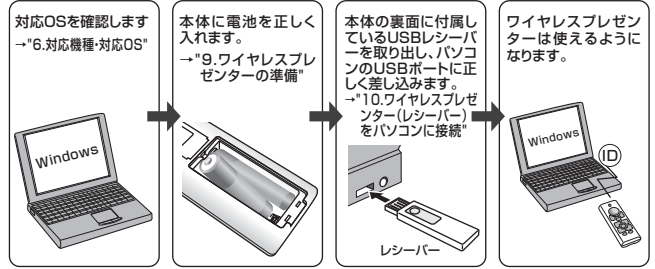
2010.8現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 三栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

10/08/YMDaNo

1. ワイヤレスプレゼンターの接続手順

詳細は各項目をご覧ください。



2. 特長

この度は、ワイヤレスプレゼンターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は動作範囲約30mの2.4GHz RF方式のワイヤレスプレゼンターマウスです。2.4GHz帯の周波数を使用しているため、従来のワイヤレスと比べて電波の到達距離が格段に長くなっており、約30m離れた場所からでも快適に操作できます。しかも16CH、65535IDなので混信の心配がありません。入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、ワイヤレスマウスとして使用できます。方向キーを親指で操作すると、マウスカーソルを360度操作でき、2つのマウスボタンで左クリック、右クリックが可能です。手で持ったまま使えるので歩きながらのプレゼンテーションなどに最適です。又、Power Point、Media Playerに対応していますので、プレゼンテーション資料をスライドショー表示し、「次のページ」、「前のページ」操作ができます。レーザーポインタ機能を搭載しており、プレゼンテーションで効果的な提案ができます。プレゼンター本体にレシーバーを収納して持ち運べるので、携帯・モバイルにも便利です。Windows標準ドライバでそのまま使用でき、面倒なソフトのインストールが不要の手間なし簡単接続タイプです。
 ※使用環境により、受信距離が短くなる場合があります。
 ※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

3. 警告

■テレビ・ラジオの受信障害について
 本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。
 ●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
 ●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
 ●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
 ●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

4. 注意

- 本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。
- レーザー光を絶対に眼に照射しないでください。
- レーザー光を絶対にのぞき込まないでください。
- レーザー光を絶対に人に向けてしないでください。
- 子供に使わせないでください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。
- レーザーの使用は、夜間使用時で40m以内、室内(蛍光灯)使用等で20m以内を目安にしてください。
- 本製品に強い衝撃を加えないでください。
- 本製品を高温・低温の場所や湿度やホコリの多い場所でご使用・保管は避けてください。
- 本製品を長時間使用しない場合や、消耗した乾電池をそのままにしておくや液漏れの原因になりますので、乾電池を取出して保管してください。

5. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的な休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

6. 対応機種・対応OS

- 対応機種
 ●Windows搭載パソコン
 各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
 ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
- 対応OS
 ●Windows 7・Vista・XP・2000・Me・98SE

7. 対応アプリケーション

Microsoft Power Point、Windows Media Player
 ※機種により対応できないものもあります。
 ※この文章中に表記されているその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

8. 接続する前に必ずお読みください。

■本製品をUSBポート接続する際の注意
 本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、右のような画面が表示されます。USBデバイスアイコンに「I」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップデートや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。
 ※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。表示がIntel(インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本体(マザーボード)メーカーのサポートにお問い合わせください。

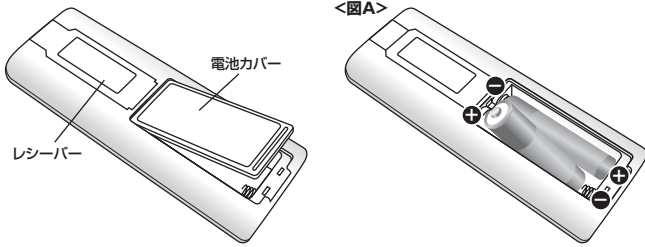


- BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合
 ●BIOS上の「USBをenable(イネーブル=有効)」にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1やF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

9. ワイヤレスプレゼンターの準備 (電池の入れ方、電源のOn・Off)

1. 裏面にして電池カバーを開けます。
2. 付属の単四乾電池2個を正しい極性で入れてください。(図A参照)
3. 電源のOn
レシーバー接続 (ID Link接続) 作業が終わった後、マウスポインタを動かすことができ、正常に動作する場合、電源がOnの状態になっています。
4. 電源のOff
本製品をしばらく操作しないと、プレゼンターはスリープモードに入り電源の消費を抑えます。操作を開始すると電源がOnの状態になります。

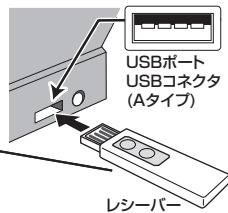
- ① 裏面にして電池カバーを開けます。
- ② 付属の単四乾電池2個を正しい極性で入れてください。



10. ワイヤレスプレゼンター (レシーバー) をパソコンに接続 (Windows用)

■レシーバーの接続

- ① コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検査ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。
- ② レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。
※レシーバーには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。



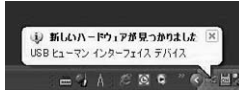
- ③ 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

＜Windows 7・Vistaの場合＞

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

＜Windows XP・2000・Meの場合＞

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



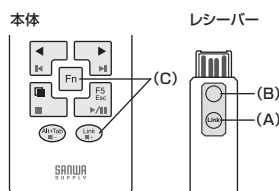
＜Windows 98SEの場合＞

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。※Windows 98SEでは、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。

- 新しいドライバを検索しています。USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ
- 検索方法を選択してください。
○使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)
----- 次へ
- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに ----- 次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、☑ 検索場所の設定(L)
C:\WINDOWS\INF ※
もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
※もし、上記の検索場所ですらドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM(パソコン購入時に同梱)を挿入し、☑ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。
- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ
- USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了

11. ID Link接続方法

- ① ID Link作業は本体に乾電池を正しく入れて、レシーバーをパソコンのUSBポートに正しく接続した状態で行ってください。
- ② レシーバーの"Link"という文字の部分(A)を押すと、赤いLED(B)が点灯します。赤く点灯してから20秒以内に、本体のFnとID Link(C)を同時に3秒以上押し、(B)のLEDが点滅すればLink作業は完了します。
- ③ Link作業が正しく完了したかどうか、マウスボタンや他の機能キーを押してチェックしてください。コントロールできない場合、再度Link作業を行ってください。

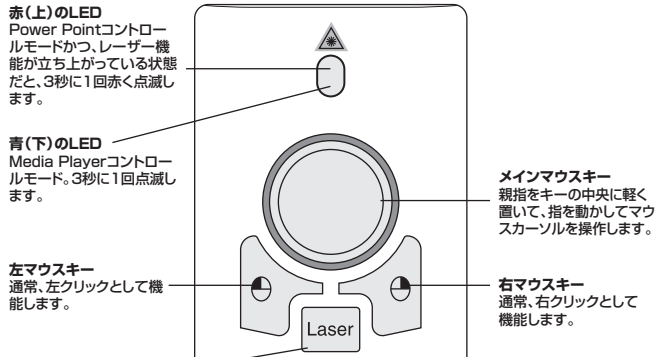


12. 干渉時の回避方法

干渉発生時は"11.ID Link接続方法"の手順に従ってLinkを行えば、干渉を回避することができます。この製品は同じID、同じチャンネルに設定された後に出荷されますので、狭い空間で同じ製品2台以上を初めて使う場合、必ずLink作業を行ってください。

13. 各部の名称と使い方

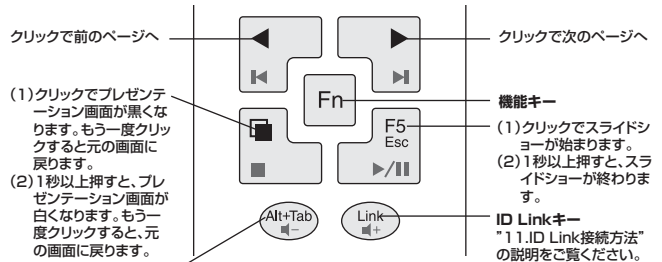
本製品はPower Pointコントロールモード、Media Playerコントロールモードの2つの操作モードがあります。Fnキーを3秒以上押し、使いたいモードをお選びください。
※初期設定はPower Pointコントロールモードです。
※無灯の状態はPower Pointコントロールモードです。
※ブルーLEDの状態はMedia Playerコントロールモードです。



- レーザーキー**
※Power Pointコントロールモードのみ機能します。
レーザーポインタのOn・Off
(1) Fnキーを押しながらこのキーを3秒以上押せば、レーザーポインタをOn・Offできます。レーザーポインタがOnの時、上の赤いLEDが3秒に1回点滅します。
(2) レーザーを照射
レーザーポインタがOnの時、このキーを押せばレーザーを照射します。

■Power Pointコントロールモード(キー上の印刷)

本製品はPower Pointコントロールモード、Media Playerコントロールモードの2つの操作モードがあります。Fnキーを3秒以上押し、使いたいモードをお選びください。
※初期設定はPower Pointコントロールモードです。
※無灯の状態はPower Pointコントロールモードです。
※ブルーLEDの状態はMedia Playerコントロールモードです。



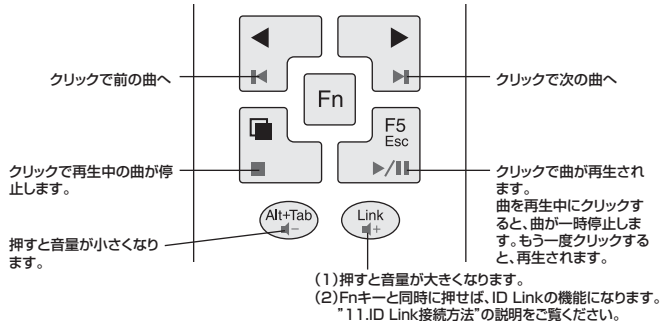
- (1) クリックでプレゼンテーション画面が黒くなります。もう一度クリックすると元の画面に戻ります。
 - (2) 1秒以上押し、プレゼンテーション画面が白くなります。もう一度クリックすると、元の画面に戻ります。
- 機能キー**
(1) クリックでスライドショーが始まります。
(2) 1秒以上押し、スライドショーが完了します。
- ID Linkキー**
"11.ID Link接続方法"の説明をご覧ください。

■ウィンドウの切り替え機能キー

- (1) Fnキーを押しながらこのキーを押すと、他に立ち上がっているウィンドウからアクティブにするウィンドウを選択できます。アクティブにしたいウィンドウを選択したら、このキーを離します。
- (2) 上記同じ方法で元のファイルに戻ります。

■Media Playerコントロールモード(キー下の印刷)

本製品はPower Pointコントロールモード、Media Playerコントロールモードの2つの操作モードがあります。Fnキーを3秒以上押し、使いたいモードをお選びください。
※初期設定はPower Pointコントロールモードです。
※無灯の状態はPower Pointコントロールモードです。
※ブルーLEDの状態はMedia Playerコントロールモードです。



- (1) 押すと音量が大きくなります。
- (2) Fnキーと同時に押せば、ID Linkの機能になります。"11.ID Link接続方法"の説明をご覧ください。

注意: この製品はパソコンのオーディオデバイスの音量を制御しますので、音量を調整する際には、Media Player画面にある音量アイコンは変化しません。

14. 「故障かな...と思ったら」

- Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。
- A. 1. 本製品に電池が正しく挿入されているか確認してください。("9. ワイヤレスプレゼンターの準備"参照)
 2. レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。("10. ワイヤレスプレゼンター(レシーバー)をパソコンに接続(Windows用)")
 3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。("9. ワイヤレスプレゼンターの準備"参照)
 4. ID Link作業を再度行ってください。("11. ID Link接続方法"参照)